

七里御浜・王子ヶ浜一斉クリーン作戦

熊野市・御浜町・紀宝町の3市町に跨がる七里御浜海岸と新宮市の王子ヶ浜海岸。これらは共に、世界でも珍しい、アカウミガメの訪れる海岸として知られています。平成29年4月23日、この美しい海岸の清掃活動が実施されました。

本清掃活動は、アカウミガメが上陸・産卵するための豊かな自然環境を守り、また、それらに対する関心と理解を深めることを目的として、地域の協力のもと、海岸に散乱するゴミや流木の回収作業を行うものです。

環境省、三重県、和歌山県、熊野市、御浜町、紀宝町、新宮市などの共催団体及び三重森林管理署や和歌山森林管理署、国土交通省などの協力団体により毎年開催される本活動は、今回で5回目を迎え、地域住民の方にとっても非常に馴染み深いイベントとなっております。今年も多数の方にご協力いただき、その参加者数は、熊野市会場で90名、御浜町会場で60名、紀宝町会場で200名、新宮市会場で500名に達しました。

当日は天候に恵まれ、晴天の下、参加者は健康的な汗を流しながら、砂浜に打ち上げられた空き缶や瓶の回収作業に精を出しました。散乱するゴミが見る見るうちに消えていき、海岸が美しく変わっていく様子はまさに圧巻！防風林内の清掃も積極的に行われるなど、海岸の自然環境に対する地域の関心の高さがうかがえます。

清掃活動は約1時間で終了し、参加者にはペットボトルのお茶が配布されました。たっぷり汗を流した後に、晴れやかな顔で冷たいお茶を口にする参加者の様子を見ると、「豊かな自然環境を守り、それらに対する関心を深める」という目的が、着実に実を結んでいると感じられました。

今回の活動では、海岸の自然環境に対する地域の関心の高さを再認識することができました。そして、それらの成果は、毎年欠かさずに清掃活動を継続されている方がいるからこそ得られたものだと思います。国有林を保全・管理する者として、地域の関心と理解を得るための活動を続けることの重要性を認識し、行動しなければならないと実感することのできた、貴重な1日となりました。

